

平成 19 年度 FD セミナー報告（生物資源学科）

テーマ：「私が経験した、韓国・日本・アメリカの教育」

講師：Kim Jin-kyung 教授

日時：2007 年 11 月 29 日 16 時～18 時

場所：共通講義棟 L112 教室

参加者：25 名（生物資源学科教員 10 名，大学院生 15 名）

－研修内容－

第一線の研究者である Kim Jin-kyung 博士の実体験に基づいた、韓日米国の教育のあり方の比較について、様々な実例を挙げながら報告された。

特に、印象に残ったのは担当する学生への責任のあり方についてである。日本では講座制が基となった垂直型の教員配置がされていることもあり一人の担当教授に権限や責任が集中するのに対して、韓国や米国では複数の教員が権限や責任を分担しており、特に米国では教員が構成する委員会を中心として組織的に学生の面倒を見る点で、修了にかかる時間や費用は増えるものの学生個人の能力を高めるのには優れたシステムとなっているという指摘がされた。

また、韓国では入試や卒業試験の科目に偏重があり社会問題化しており、人間形成に関してよりバランスのとれた教育を目指すことが必要であるとされたが、一方で教育に関する関心は日本よりも高く、研究や教育への社会資本の投資は非常に高いことや国際化が強く意識されている点もよく示されていた。

最後に、アジア地域での大学に対する関心の高さの一つとして、世界の「小さくて強い大学」を紹介した本の内容について分析され、そうした大学が目指すべき方向性として、より特色が明確であることが求められることを述べられた。